

2026 年度 大学院 建築学研究科 修士課程
一般入学試験 1 期 建築学専攻
専門科目

試験室への持ち込み：関数電卓 持ち込み可

【解答上の注意】 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

問 1 または問 2 のいずれかを一つ選択して回答すること。

問 1

1－1

下記の建築に関連する用語について、それぞれ 100 字程度で説明しなさい。

- ・国立代々木競技場
- ・国立西洋美術館
- ・LVL (Laminated Veneer Lumber)
- ・ABW (Activity Based Working)

1－2

2023 年時点の日本の空き家数は 900 万戸と、過去最多を記録している。空き家問題は、防災、衛生、景観などの面で生活環境に影響を与える社会問題となる。この問題の背景と原因を整理したうえで、建築・都市計画の視点から具体的な対策を 400 字程度で提案しなさい。

1－3

持続可能な社会の実現に向けて、建築分野が取り組むべき以下の課題のうち、あなたが最も重要だと考える課題を一つ選び、その理由と対処法について 400 字程度で論じなさい。

- (ア) 建築物のライフサイクル CO₂ の削減
- (イ) 自然エネルギーの建築的利用
- (ウ) 地域資源の活用とローカルデザイン
- (エ) 使用者の環境意識と建築の関係

2026 年度 大学院 建築学研究科 修士課程
一般入学試験 1 期 建築学専攻
専門科目

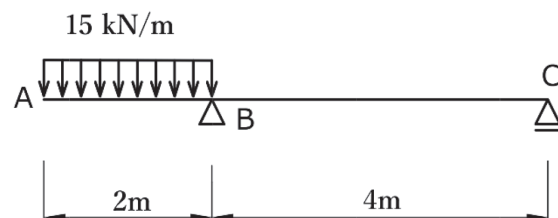
試験室への持ち込み：関数電卓 持ち込み可

【解答上の注意】 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

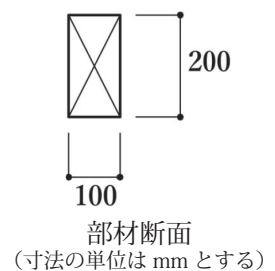
問 2

2－1

図のような荷重を受ける梁について、以下の問いに答えよ。



- (1) C 点における反力の大きさを求めよ。ただし、反力の向きは、上向きを「+」、下向きを「-」とする。
- (2) B 点における曲げモーメントの大きさを求めよ。ただし、曲げモーメントの向きは、引張側が梁の下側の場合を「+」、上側の場合を「-」とする。
- (3) 梁の全長にわたって断面 $100\text{mm} \times 200\text{mm}$ の部材を用いた場合、その部材に生じる最大曲げ応力度の値を求めよ。なお、割り切れない数値の場合は、四捨五入をして小数点第二位まで求めよ。



2－2

アーチとケーブル構造について、それぞれの特徴を 2 つの構造システムの違いを比較しながら以下の用語を交えて 400 字程度で簡潔に説明せよ。なお、すべての用語を使う必要はないものとする。

軸力	曲げモーメント	圧縮力	引張力	支点
	スラスト	サグ	ライズ	座屈

受験番号	氏 名

2026 年度 大学院 建築学研究科 修士課程
一般入学試験 1 期 建築学専攻
専門科目

解答用紙（横書きで解答すること）

選択した問題

☐ 問 1 ☐ 問 2

問 1 の 1－1 の解答欄

〈国立代々木競技場〉

100

〈国立西洋美術館〉

100

※得点欄
／ 100 点

受験番号	氏 名

2026 年度 大学院 建築学研究科 修士課程
一般入学試験 1 期 建築学専攻
専門科目

解答用紙（横書きで解答すること）

<LVL（Laminated Veneer Lumber）>

100

<ABW（Activity Based Working）>

100

受験番号	氏 名

2026 年度 大学院 建築学研究科 修士課程
一般入学試験 1 期 建築学専攻
専門科目

解答用紙（横書きで解答すること）

問 2 の 2 - 1 の解答欄

(1)	(2)	(3)
kN	kNm	N/mm^2

